

Hanako

登録番号 11

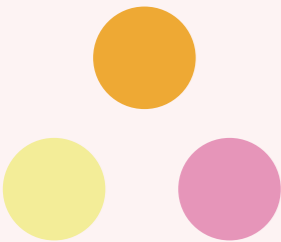
大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 建築工学コース
建築・都市形態工学領域
M1 石村真子 M2 弘中昇太



Concept: 花華のキャンパスライフ

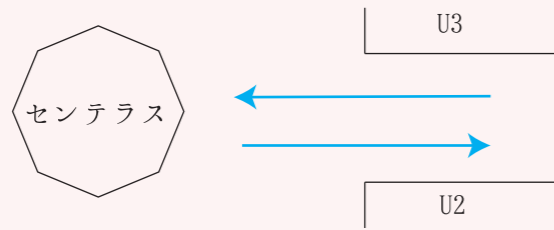
楽しいキャンパスライフを目指して、現在求められているものは何だろうか。今回の提案では現在の工学研究科のオープンスペースが抱える問題点を3つ取り上げ、それらに対して改善していくようなベンチを生み出した。

1. 質素な色彩

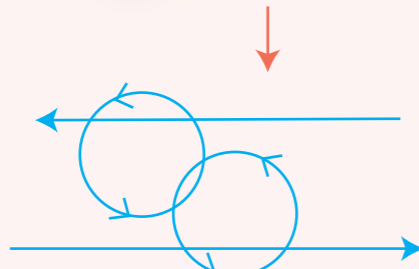


明るい色を加える

2. 直線的な動線



はなをそえる



滞留ができる配置と形状

3. 工学部特有の男女比率



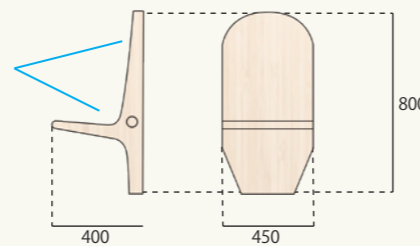
女性や子供への需要

「はなびら椅子」

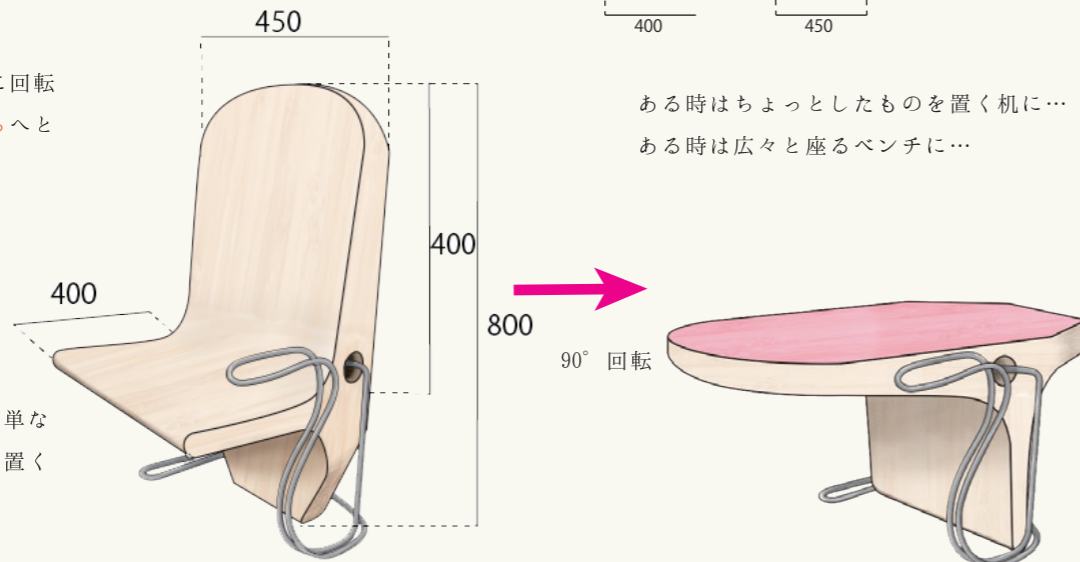
基本ユニットはシンプルな形状になる。作りを合板型にすることでデザイン性をもった曲線と強度を確保する。

また、内部に通したスチールを軸に回転することで、椅子の形状から花びらへと変化する。

座りやすいように少し傾斜をつける
重心を後ろへ下げて回転事故防止の
役目も果たしている



ある時はちょっとしたものを置く机に…
ある時は広々と座るベンチに…



ひじ掛けは回転軸と一体型で、簡単なドリンクやスマートフォンなどは置くことができる。

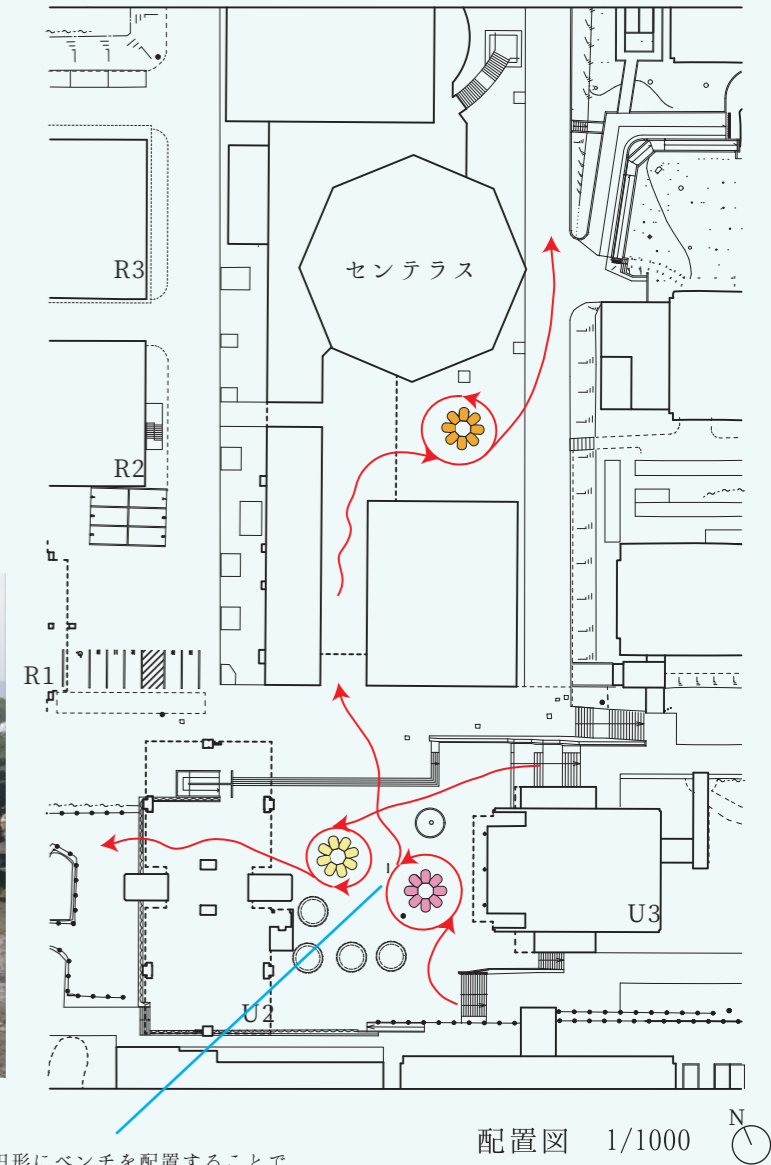


はなを中心に人が集まり、賑わいを生み出す



基本形態は「はながた」にするが、1つ1つが独立して使用することも可能となる

想定動線



配置図 1/1000

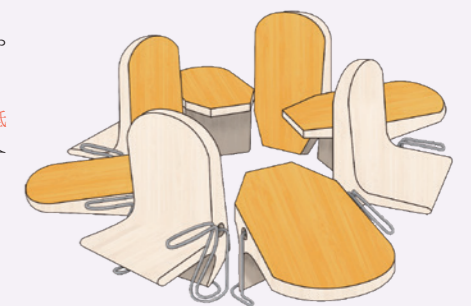
円形にベンチを配置することでベンチを中心とした円状の動線が作られ滞留を生み出す

「はながたベンチ」

1つ1つでも機能する「はなびら椅子」を8つ組み合わせることではながたベンチは形成される。

椅子の裏に隠れていた鮮やかな花びらが開き、色彩の乏しいオープンスペースを一瞬にして明るい雰囲気のある場所へと変化させる。

椅子型と組み合わせれば荷物や小物を置くスペースにもなる
椅子型とはなびらの座高の高低差が絶妙なバランスを作り出す



他の組み合わせ例

みんなで広々と座ることもでき対面で座らないための感染対策の機能も兼ねている

